令和8年10月7日
飯塚市総合計画審議会
資料1

第4回飯塚市総合計画審議会に係る質問及び意見

No	該当資料	ページ数	掲載箇所	質問・意見内容	回答
1	序論・基本構想（素案）	16	（2）人権課題への対応と価値観の多様化	主要課題の「②男女共同参画社会の実現」について、施策等の文言と同様に「ジェンダー平等・」を追記しないのか。	序論の主要課題「男女共同参画社会の実現」につきましては、男女共同参画社会基本法に加え、飯塚市男女共同参画推進条例においても男女共同参画社会の形成を促進することが位置付けられていることから、主要課題としているものです。 一方、施策名につきましては、現在の社会情勢や取組の方向性を踏まえ、「ジェンダー平等・男女共同参画」としております。 現在、策定中の次期プランでは、基本目標1において、「ジェンダー平等・男女共同参画」を意識づくりの柱として明確に位置付ける一方、基本目標2及び3の個々の施策については、その取組内容に応じて「男女共同参画の推進」や「男女共同参画の視点」といった従来の表現を用い、全体としてわかりやすく整理をすることとしております。
2	基本計画（素案）	25	施策4-2.就学前教育・保育の充実 目標達成指標	目標達成指標に第2次総合計画同様に未利用児童のことを加えられないか再度検討いただきたい。 通わせたい保育施設に空きがなく、認可外等で待っているこどもについては、市は対応を行わないと見られるのではないか。 そういった希望も考慮して基本事業①で整備しているのではないのか。	未利用児童の大半は、特定の保育施設を希望されているため、入所可能とするには、特定の保育施設に対して、保育士を雇用するなど対応をお願いすることになり、目標達成指標として設定するのは適切でないと判断しています。 児童を預かるためには、法により決められた数の保育士の配置が必要となり、不足している場合、各保育施設の定員に満たない状況でも入所が出来ません。そのため、保育士確保は待機児童数0人を維持するために必要な条件となることから「待機児童数0人」という目標達成指標を設定しております。 また、第3次飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略における子育てしやすい環境の整備の中の目標達成指標（KPI）では待機児童数0人を掲げており整合性を図るものです。
3	基本計画（素案）とSDGsとの関連性	―	施策3-4.高齢者が安心して暮らせるまちづくり	SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」も関連があるのではないか。 高齢者は女性の比率が高いため、事業実施においてはジェンダー平等の視点が必要と考える。	関連性があるものに●を付す整理となった場合、ほとんどの施策に関連があることになります。 （ジェンダー平等の視点を持って、どのような事業も実施する必要があると考えるため。） そのため、成果が貢献するかという考え方で、庁内で検討し、整理しております。
4	基本計画（素案）とSDGsとの関連性	―	施策7-1.災害・減災対策の充実	SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」も関連があるのではないか。 地域防災計画の避難所運営等においては、ジェンダー平等の視点が必要と考えるため。	ご指摘の通り避難所運営においてプライバシー保護、避難者の尊厳の保持が重要であり、ジェンダー平等の視点がないということではありませんが、防災においての各施策の「成果」が、SDGsの目標達成の貢献には直結しないと判断しております。